

ELECTRIC GRAND CP-80/CP-70B

世界のプロフェッショナルの熱い注目を集める、エレクトリックグランド。
グランドピアノアクションをそのまま採用した打弦式。タッチといい、サウンドといい、限りなくアコースティック。

音楽のジャンルを越え世界のトップキーボーダーの称讃を欲しいとしたエレクトリックグランド。73鍵タイプのCP-70B、そして88鍵タイプのCP-80。まさにグランドピアノそのまゝの音質とキータッチ。エレクトリックならではのサウンドリレーション、移動のし易さ、充分な音量。仕方はコンパクトながら、スタジオでもライブでも、トップキーボーダーの期待を裏切らない根拠は、パフォーマンス。あなた自身の指さきて、ぜひお確かめください。

●打弦式の音源とグランドピアノアクション
CP-70B、CP-80の音源は弦をハンマーでたたく打弦式。グランドピアノと全く同じ仕組みのアクション機構を採用しているため、グランドピアノそのまゝのキータッチ、タッチレスポンス。キータッチをそのままの自然な音の強弱——指さきを感じる微妙なキの重さも、少しも損なわれていません。キイはピアノと人の接点。タッチのちがいは、まさに演奏を左右します。



●音源もグランドピアノそのまゝ
エレクトリックグランドのボディ構造は、グランドピアノとはほぼ同じ。そしてグランドピアノと最も異なる点は、生ピアノをマイクで集音した場合に起こりがちな、ハウリングを遠放したことです。さらに、原音の徹底追求から誕生したヤマハ独自のピックアップが、弦の1本1本に対応して、澄みきった最高音から、重厚にしてクリアな最低音に到るまで完璧なボリュームバランスを誇ります。しかしなんと、打弦式を採用したことによる最大のメリットは、アコースティックな音色。立ち上がりから、減衰し、消滅するまでの倍音構成・音量変化は、これがエレクトリックピアノかと思うほどダイナミックレンジの広さが魅力です。



●エレピだからエフェクトのかかりは抜群

エレクトリックグランドはボリュームコントロールをはじめベース、ミドル、トレブルのトーンコントロールを採用しています。たとえば、トレブルを低目にセット、ベースを上げればジャズピアノ風の鈍いサウンドをつくれますし、逆にベースを上げればトレブルを上げれば、クラシカルで華麗なサウンドが誕生します。お好みのサウンドにセットしてください。CP-80には使用アンプの音質を、曲に合わせて高音レベルを瞬時に切り換えることができるプリアンプレベルSWを装備しています。また、トレモロの速さ、深さを自由にコントロールできるステレオ方式のトレモロユニットや、エフェクターを接続できるバッキング端子も装備。左右に微妙に揺れ動くドラマチックなトレモロ、ワウワウ、フェイズシフトサウンドなど新しいサウンドをつくり、演奏時の音場コンディションに合わせてエフェクトは思いのまま。エレクトリックピアノならではの数々のサウンド効果が得られます。

●ライブとレコーディングの使い分け

アウトプットはCH1、CH2のステレオ。それぞれに、フーンジャック、キヤノンコネクターが取り付けられています。PAにラインで送る場合などはキヤノンコネクター側を利用して、便利なシステムです。アンプスピーカーはエレクトリックグランドならではのタッチレスポンスを最大に生かすため、ダイナミックレンジの広い機種を選んで使えば効果的です。CP-80、CP-70B用として最適な、ヤマハのパワーアンプ内蔵のPAスピーカー(A4115H)などをお勧めします。



●キャリアブルタイプです

本体は鍵盤部分とフレーム部分で、上下にセパレート。つまり、アクション部を2分し付属品といっしょに、ふたつのケースに納めるといった画期的な構造をもっています。これで、演奏旅行に伴う移送の問題も、らくら解決。あくまでプレイヤビリティを重視した設計です。

●定期的な調律をお勧めします

エレクトリックグランドはピアノ本来の音色とタッチを実現するため、アコースティック同様ピアノ弦をハンマーでたたくという音源方式をとっています。つねに最良のコンディションを保つため、定期的な調律をお勧めします。

●電源部

メンテナンスの点、また万が一のトラブルに備えて、電源部はボディの外に出されました。

